各学部の教育

(1) 学部教育目標(教育目標系統表)

	就学前	小字部の教育日標			中学部の教育目標	高等部の教育目標	卒業後
前文		小学部段階は、外界とのかかわりを拡大し、内なる世界を飛躍的にひろげ自我を確立していく時期である。この時期に、豊かな経験や学習活動をとおして、個々の要求や表現方法を広げ、わかる力やできる力を高める。また、基本的生活習慣の定着をめざすとともに、他者との信頼関係を築きながら、楽しく主体的に学校生活を送る力をつける。 【生活】 ・基本的生活習慣を身に付け、主体的に学校生活を送る力をつける。			中学生は、からだが急速に成長変化する思春期を迎え、心と体の調和を図ることが最も大切な時期である。この時期に、健康なからだつくりをすすめるとともに、集団との関係を大切にしながら自己の形成を助け、生活を組み立てていく力をつける。また、中学生としての自覚を促すとともに、主体的に活動できる人格を育む。	高等部の生徒にとって、青年期は、健康でたくましい体を育て、心を豊かにすることが大切な時期である。この時期に小・中学部(小・中学校)で獲得してきた力を高め、仲間と共に育ち合いながら、自らの生活を切り拓き、さらに人格の形成をめざす。	
					【生活】	【生活】	
					・基本的生活習慣を確立し、主体的に生きる力を養う。	・自立心を養い、社会生活に参加し適 応できる力をつける。	
柱①		低学年	中学年	高学年			
「生活」		学校生活のリ ズムをつかみ、 基本的生活習 慣を獲得する	基本的生活習 慣の定着を図 り、学校生活 に見通しをも つ	主体的に学校生活を送る			
	-	【からだ】・生理的基盤を整え、自らのからだをコントロールする力をつける。			【からだ】 ・運動機能を高め、体力をつけ、様々な生活場面に生かす。 ・性に関する理解を深め、思春期の心と	【からだ】 ・思春期から青年期を迎えるからだの変化を受け止め、健康なからだの育成をめざす。	
柱②		低学年	中学年	高学年	体を正しく認識する。	・生命の大切さを知り、自分や相手の 命を大切にする思いを育む。	
「からだ」		しっかりと身 体を動かし、健 康なからだを つくる。	運動機能を高 め、だをコンる らだをする。 をつける。	運動機能のからから をからいるのでは、 をからいるのでは、 をからいるのでは、 でいけ、 ででする。 発揮する。			
柱③	_	【コミュニケーシ	/ョン】		【学力】	【学力】	
「学力」		・教師や友だちとの関係を軸に、人やものにかかわる力を広げ、個々に応じたコミュニケーションの力をつける。				・自ら学ぶ意欲を育て、学んだことを 生活に生かせる力をつける。	
		低学年	中学年	高学年	【人との関わり】	【人との関わり】	
柱④ 「人との関		教師との関係とを軸に、人やものにかかわる	教師や友だちとの関係を軸に	集団の中で、人 やものにかか わる力を発揮	・集団生活をとおして、仲間と共に協力 する力や自主的に活動する力をつけ る。	・自分の気持ちを伝えることや、仲間 と共に意見を出し合い問題を解決し ていく力をつける。	
わり」		歌軸に、人かり要に のた広げ、より のを出せる。 になる。	教とににをもる要伝だをもる要伝ににををある。	し、互いの要求を受け止めあう。	・身近な地域生活をとおして、社会性を育む。	・自分や仲間の個性を認め合い、共に助け合う心を育む。	
		生涯学習・進路 将来について考え、社会の中で自分の生き方を見いだす。					
		生涯をとおして学ん			学んでいこうとする意欲		ノ